

令和6年2月9日 例会議事録 (参加者22名 内訳 会員21名、ビジター1名)

司会・加藤幹事 第257回例会を行います。まず会長から挨拶を。

会長挨拶 皆さん私のこと覚えていますか。2か月間欠席しておりました。皆さんも変わっていませんね。本日もよろしく。

ビジター紹介 紹介者・佐藤会員 (岩手県千厩高校同級生の林リツ子さんを紹介します。)

林リツ子氏挨拶 プロバスの標語「楽しくなければ・・・」を拝見して、できればご一緒させていただきたい。昨年まで医療関係のほうに従事していました。これから倶楽部で、いろいろ経験を伺って私の人生を豊かにしていきたい。

誕生月会員紹介 保谷会員委員長 2月の該当者は1名。

渡辺会員 1941年2月11日生まれで83歳。2月11日は建国記念日です。私はこの会に入って喜んでいきます。目標は、元気で明るくコミュニケーションをとって行くことです。

会務報告

(1) 理事会協議及び決定事項報告 (前回会長不在のため例会委員長から)

4/12(金)開催の移動例会について

*横浜市庁舎見学～甘太郎桜木町店にて例会及び懇親会を予定。

3月例会時に移動例会の詳細と出席確認を行う。

(2) 各委員会報告 (各委員長から)

例会委員会・情報委員会 移動例会は楽な行程なのでよろしく。

多摩プロバスニュースを回覧しますので見てください。

会員委員会 今70代を会員にしようと頑張っております。

事務局報告 松下事務局長

- ① 横浜グリーンプロバスが創立10周年。記念誌に会長の挨拶文を依頼されている。また、祝賀会を4/18(木)ザ・ノット横浜で行う。参加者の名簿を求められている。後程出欠をとる。
- ② 多摩プロバスの滝川氏が大病をして、自宅でリハビリに取り組んでいる。現在クラブを休会中だが、クラブの20周年には復帰したいとしている。
- ③ 五所川原の担当幹事から連絡があり、2月中に参加者名簿を提出の必要がある。各クラブ単位の申し込みだが、当倶楽部と多摩プロバス5名は一緒に、福島プロバスは1泊のみ一緒に希望。ホテルは各クラブで考える。横濱プロバス+多摩プロバス5名+福島プロバス6名。
- ④ 本日の出欠、ダニエル氏、岡部氏は体調不良で欠席。神谷氏はリハ中だが3月は参加したい、森山氏は2次会出席したいとっておりました。
- ⑤ プロバス通信を50部増刷する。(他クラブ分その他)
- ⑥ バレンタインチョコが小野寺会員から提供されました。

会員放談 題目「岩手県のことども」 佐藤政男会員 (岩手観光案内図配布)

みちのく、奥州の東北5県は全国の県面積の広さ10傑の中に入っている。岩手県と四国を比較すると四国のほうがやや広いが、岩手県は県の広さナンバーワンである。都道府県全体でも北海道に次いで2位となっている。

岩手の名前のいわれとして、昔、鬼が争いに負けて泣いて岩に手形を押したからと、メルヘンチ

ックな話が残っている。

岩手には世界遺産平泉の藤原清衡造営中尊寺には国宝第1号の金色堂があり、橋野鉄鉦山、御所野遺跡と3つの世界遺産がある。

岩手が生んだ偉人などは、多種多彩で首相は5人、その他に国際人、学者、文学界、スポーツ界に人材を多く排出している。ちなみにスポーツ界は、大谷翔平、菊池雄星、佐々木朗希。

啄木派？ 賢治派？

啄木は明治45年（1912年）没・享年26歳、盛岡に記念館。賢治は昭和8年（1933年）没・享年37歳、花巻に記念館。

宮沢賢治は明治29年花巻の質屋の長男に生まれ、森岡第一高校、花巻農学校に進学。本当の百姓になるため、30歳で農学校の教員をやめる。33歳で厳しい風土の耕作地に必要な石灰工場の技師になり、販売の拡大につとめた。35歳で肺炎に、花巻へ戻る。37歳で死去。後年、農化学者一岩手、日本農業の救世主と言われる。

賢治の作品は生前2点の発表にとどまっている。「春と修羅」大正13年4月（1924）、当該作品は佐藤惣之助、草野心平など中央文壇で激賞される。

「注文の多い料理店」大正13年12月。

未発表の作品は、高村光太郎の進言で空襲を逃れ、戦後その尽力により世に発表される。

参遊会活動報告と予定 持田委員長

カラオケ同好会・・・富永世話人「例会後、ビッグエコーで、参加をお待ちしております。」

パソコン同好会・・・渡辺世話人「2/27（火）県民センター7F、保留中が多いのですが。」

ゴルフ同好会・・・持田世話人「3/25（月）太平洋GC」

ボウリング同好会・持田世話人「理事会後、ハマボール」